

検査実施料に関するお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、令和4年7月29日付け厚生労働省保険局医療課長の通知「保医発0729第4号」により、測定項目の測定方法が変更されましたので、下記の通りご案内いたします。

健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■ 適用日 令和4年 8月 1日から適用

■ 保険収載内容 一部変更

| 測定項目 | 保険点数 |
|--------------------|------|
| SARS-CoV-2抗原検出（定量） | 560点 |



保険収載内容の一部変更

下線部分が変更されました。

| 測定項目 | 保険点数 | 検体検査判断料 | 診療報酬点数表区分 |
|---|--------------------|------------------------|-------------------------|
| SARS-CoV-2抗原検出（定量） | 560点 (280点×2回分) | 免疫学的検査判断料 (※6 144点) | 「D012」感染症免疫学的検査 「52」 |
| 留意事項 | | | |
| ～（略）～ | | | |
| <p>イ SARS-CoV-2抗原検出（定量）は、当該検査キットが薬事承認された際の検体採取方法で採取された検体を用いて、SARS-CoV-2抗原の検出（COVID-19の診断又は診断の補助）を目的として薬事承認又は認証を得ているものにより、COVID-19の患者であることが疑われる者に対しCOVID-19の診断を目的として化学発光酵素免疫測定法（定量）、電気化学発光免疫測定法（定量）又は化学発光免疫測定法（定量）によるSARS-CoV-2抗原検出（定量）を行った場合に限り、「52」HIV-1抗体（ウエスタンブロット法）の所定点数2回分を合算した点数を準用して算定する。ただし、感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための積極的疫学調査を目的として実施した場合は算定できない。</p> <p>COVID-19の患者であることが疑われる者に対し、診断を目的として本検査を実施した場合は、診断の確定までの間に、上記のように合算した点数を1回に限り算定する。</p> <p>ただし、発症後、本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断が見つからない場合は、上記のように合算した点数をさらに1回に限り算定できる。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。</p> <p>上記に加え、COVID-19の治療を目的として入院している者に対し、退院可能かどうかの判断を目的として本検査を実施した場合は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて（一部改正）」（令和3年2月25日健感発0225第1号）の「第1退院に関する基準」に基づいて実施した場合に限り、1回の検査につき上記のように合算した点数を算定する。なお、検査を実施した日時及びその結果を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。</p> <p>なお、SARS-CoV-2抗原検出（定量）を実施した場合、SARS-CoV-2抗原検出（定性）については、別に算定できない。</p> | | | |
| ～（略）～ | | | |

※化学発光酵素免疫測定法（CLEIA法）につきましては、最寄りの営業所・営業拠点またはデータインフォメーションへお問い合わせください。